

地域の
の
かわら版

まるやま

今でしょ!!!

体験してみよ 震度 “7”



地域のみなさんの防災意識を持つきっかけ作りに役立ててもらおうと、7月27日(土)、28日(日)の2日間
起震車の体験乗車会を「郷づくりまるやま」セーフティー丸山が開催しました。
『地震体験車まるくん』に乗って“ぐらっと体験”と題して丸山地域内5箇所(子育て支援センター ほのぼの・丸小 納涼の夕べ・君商さん駐車場・丸山運動広場脇駐車場・大井青年館)にお邪魔しました。

2日間合わせて203名もの方が乗車され、子育て支援センターほのぼのと君商さん駐車場には白バイやパトカーの展示もありました。

体験された方からは、
「震度7の揺れはすごいね！乗っておくべきだね！」
「狭い体験車だから耐えられるけど、家の中など、家具や何かがたくさんある所だったら物が倒れたり、飛んできたりして大変だね。」
「子供をかかえている時、突然こんな大きな揺れがきたら、どうしようもない」
等々、震度7の強い揺れを経験した直後、皆さんからいろいろな感想が聞かれました。

これからも、「郷づくりまるやま」セーフティー丸山は地域の皆さんの安全な暮らしに役立つ情報提供や、催しなどを企画し実施していく予定です。



No. 33

ほっとスポットひだまり報告

第23回「ほっとスポットひだまり」が6月20日(木)鯨岡集会所で開催されました。初めに渡辺千里さんから、この「ほっとスポットひだまり」は地域の人達や一人暮らしのお年寄りが月一回集まって丸山内を廻り、地域のことなどテーマを決めてお話しを伺いながらお茶を飲んでおります。今日は、赤十字防災ボランティアの平井恵美子さんにお話していただきますとご紹介して下さいました。

平井さんからは、災害時に備えるということから、ビニール袋を使ってご飯を炊く方法を習いました。まずビニール袋にお米を一合入れ印しのところまで水を注ぎ、好みでだし醤油や塩昆布と一緒に入れ袋の空気を押し出し袋口を折って輪ゴムで止めます。これをお湯の中に入れ30分沸騰させたらご飯の出来上がりです。このご飯が出来上がるまで平井さんからいろいろなことを教えて戴きました。

その中から大地震に備えるということで、自分の住んでいる所の地盤を知り、津波がきそうなところは裏山に逃げるとか、寝る部屋には何も置かないようにし、地震が来た時は倒れるものがないようにすること。又、災害時に備え家族との待ち合わせ場所を細かく決めていたほうが良いとのことでした。

そして、災害時に安否情報がやり取りできる「171」の電話サービスや、バンドエイドの両脇に切り込みを入れると剥がれにくいということなので、作ってみたら「これはいいですね」と皆で関心しました。また、頭や肩を怪我した時、手ぬぐいや風呂敷で覆う方法やビニールの袋から簡単に作れる「雨かっぱ」を作り試着してみました。

30分が経過し、ご飯が炊けたのでビニールの端を破り、あつあつのご飯を食べました。昆布やだしが入っているのでそのまま、おいしく戴きました。

その後、東日本大震災の被災地に行った方のお話があり、会は惜しまれながら終わりました。



お米を袋詰めしています



バンドエイドの講習



雨かっぱ作り



お米の袋詰め



おいしいご飯ができました。

☆9月25日・ほっとスポットひだまり・岩糸青年館

(岩糸の防災について、日赤防災ボランティア)

ひまわりフォトコンテスト 2013



写真募集!

テーマ：ひまわりのある風景

募集期間：平成25年9月30日～10月15日

コンテストのルール

- 資格：南房総市在住の方
- 条件：*応募対象作品は、まるやま花・華倶楽部で配布したひまわりの種を自ら育てた物で平成25年7月～9月末日までの間に、撮影した写真。*写真は2L版以上(127×180mm)4つ切り以下(254×305mm)でカラー及びモノクロ(デジタル可)
*応募作品の一切の権利は、主催者に帰属します。
*応募作品は、返却しません。
- 方法：作品は郵送又は持参して下さい。 応募点数は、一人各一点に限ります。
- 締切：平成25年10月15日まで(当日消印有効)

ごめんなさい
種の配布は
締め切りました



審査の流れ

- ☆展示期間：10月21日～10月31日
- ☆展示場所：丸山地域センター
- ☆発表：11月上旬 予定
- ☆審査：花を大切にする心や表現を重視した、個性あふれる作品を中心に、主催者及び主催者が委託した審査委員により選考決定します。

一般投票決定!!

展示期間中、丸山地域センターで行います

- ☆賞：花華賞(5名)副賞+賞状
- 花華賞(3名)副賞+賞状
- 佳作(5名) 副賞

<主催> 郷づくりまるやま まるやま花・華倶楽部

応募・問い合わせ先：「郷づくりまるやま」事務局 〒299-2592 南房総市岩糸2489(丸山地域センター内) TEL:0470-46-2388

点線で切り取り、作品と一緒に応募してください作品の紹介カードになります

ひまわりフォトコンテスト応募用紙

| | | | |
|---------------|--|------------|---|
| ご住所 〒 南房総市 | | | |
| お電話 | | e-mail(任意) | |
| お名前 | | 男・女 | 才 |
| コメント | | | |

参加費無料
賞品多数用意!

ひまわりフォトコンテストに応募します。また、作品の一切の権利は主催者に帰属することに同意します。

会員さん取材「市長出前講座」

郷づくりまるやまの会員さんで丸山地区生涯学習推進員の方が、市長出前講座として「数値に見る高齢化現象とこれからの南房総市について」の取材をして下さいました。

去る7月6日（土）の午後丸山公民館に於ける「市長出前講座」を拝聴できたので、感謝をこめて報告させていただきます。

市長は冒頭、市人口の推移を話題にされ、南房総市は毎年500人前後の減少傾向であり（出生数は市全体でも200人以下）、人口の減少は自治体としては大きなマイナス、地域に定着する人口の増加に向けての検討及び対策を進めたいと、この難題に強い関心を示された。

ついで市政の基本目標については、「実現可能な住みよいまちづくり」をあげ、それは行政のみでは不可能で、市民とともに協働するまちづくりが不可欠と念を押された。その立場から、行政側は「市の方向性」を的確に予測し、情報を市民に提供する努力が求められているとの見解を示された。

財政については、市は合併債を受けている関係でここ2、3年は黒字である。しかし平成28年以後は合併債の減額が始まるので、予算編成では支出削減を重点とした運営は避けられないと今後の厳しい見通しを説明、市民に理解を求めていくとした。が、苦しい財政下であっても『福祉は今後拡充していかなければならない分野』と述べ、保健事業の進展に力を注ぐ必要性を強調された。現在順調に実績をあげている高齢者外出支援事業など各種施策を充実させ、更に高齢者への特定診断や健康教育を推進して、医療・介護費等の支出削減にもつなげたいと意気込みを語られた。

この市長出前講座は、「高齢化と健康」をメインテーマに研修事業を企画推進する丸山公民館の地区生涯学習推進委員の求めに、石井市長が快諾されて実現したものです。

「市政の取り組み方がよくわかった。」「資料が充実して分かりやすい。」「高齢化・医療問題について、詳しく聞くことができた。」「市長さんの生の声が聞けてよかった。」などなど・・・。

およそ100名の参加者全員に資料（9頁）を準備され、80分超の熱のこもった石井市長の講演は、受講者のみなさんに、高い満足度で受け入れられたものと感じている。

❀ローズマリー花だんを整備しました❀

毎日暑い日が続いている中、8月12日（月）君商さんと郷づくりまるやまで案馬谷交差点の花だんにポチュラカとマツバギクの植栽、国道沿いの花だんを整備しました。

郷づくりまるやまは、旧ローズマリー花だんの整備をし、この度、花だん手入れのお手伝いできる方を募集いたします。

詳しくは「かわら版」でお知らせいたしますので、ご協力の程よろしくお願ひします。



水かけ



花だん整備



植栽

▼地域のかわら版 まるやま 第33号 発行：平成25年8月22日（月1回程度発行）

発行元：郷づくりまるやま

編集：地域づくり支援員

〒299-2592 南房総市岩糸2489（丸山地域センター内）

TEL：0470-46-2388 FAX：0470-46-3991

E-mail：msatodukuri@gmail.com

URL：http://civil.mboso-etoko.jp/group/detail.asp?id=84